

2025
秋号



連載企画
第7回

空き家を考える

空き家対策セミナーに参加して

家には賞味期限がある

7月26日に大豊町役場で行われた空き家対策セミナーに参加してきましたので、その状況と、私たちが大豊町で空き家の活動をする際に感じていることも交えてお伝えしていきたいと思います。

講師は福井県で活動するNPO法人ふるさと福井サポートセンター（以後、ふるさぽ）

の北山さんと、中川さんにお越しいただいて、「間違いだらけの!? 空き家の常識」というテーマでお話を聞くことができました。

特に住まなくなつた家は老朽化の進行が速く、福井県の例でいくと5年、10年と空き家になってしまった家は大幅なリフォーム代がかかり、それが原因で活用ができなくなってしまい、最終的には解体という方法しかなくなるという内容のお話がありました。

まさに大豊町でも同じ状況が起っています。当時はまだ手放すつもりは無いと言つていた所有者の方々が、数年たってから売りたい、貸したいという相談も最近多くなつてきました。しかしこの間に家が老朽化しマッチングが難しい状況が増えていきます。

ふるさぽさんの活動を参考にして始まりました。4年前から大豊町と県の空き家対策チームを交えて、ふるさぽさんから色々なノウハウを学ばせていただきました。おかげさまで新たな活動ができる状況です。

このチェックシートの内容、実はすべて「×」なのです。どれも噂話や個人の解釈が都合良く広まつたもので、本当のところは色々な法律や不動産経済の現状から空き家所有者にとつては厳しい状況となつているとのことでした。

周りから聞いたことがある情報なら「○」を記入（抜粋して記載）

良い部材を使っている家は高く売れる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
空き家は最終的に役場や国が引き取ってくれる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
困ったら相続放棄したら良い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
先祖代々から受け継いで名義なんて変えたことない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
名義なんて変えなくても家は売れる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
放置しても解体費用は役場が全て面倒をみてくれる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

などなど...

空き家のことについて、周りの人がどれくらい理解しているかを体感することができるチェックシートを使った話では、左記のような質問があります。初回登記がなかつたり相続登記をしていないケースも見受けられます。昔は法的な扱いが緩やかだったためですが、今になつて手放したい、補助金で修繕したいときに支障が出ています。

今回の相談者の一人はアドバイスを実行し、無事に解決できたらと喜んで報告してくれました。私たちも活動の意義を感じる瞬間でした。

空き家の相談は「元気おおとよ」でいつでも受け付けています。まずはお気軽にご相談ください。

070-8490-0228

担当・猪野

空き家理解度チェック

セミナーの中では参加者も一緒に考える場面が多くありました。

空き家のことについて、周りの人がどれくらい理解しているかを体感することができる

セミナー終了後には専門家の無料相談窓口が開設され、登記関係で困っている所有者の方と一緒に参加しました。

空き家相談窓口

千賀 未来さん

せんが
みらい

今回の移住者紹介は大阪府出身の千賀未来（せんがみらい）さん。

東京や京都などに住み大豊町へは、1年ほど前に移住してきたそうです。大豊町での暮らしと感想をインタビューしました！

大豊町に住む前は何をされていましたか？

最初の10年は会社員として映像やウェブ制作をしていました。その後に独立して映像の制作会社を5年ほど経営していました。

東京で仕事をしていた頃に

コロナウイルスが流行り、リモートワークをするようになつて「東京でなくても仕事はできるんじゃないかな？」と考えるようになりました。

大豊町に住んでからも、東京でやっていた仕事は在宅で行っています。配達業者の方などに「この人平日も家にいるけど何してるんだろう？」と思われていていますが、ちゃんと働いています。笑



大豊町へ来たきっかけを教えてください！

大豊町を知ったきっかけはグーグル・マップなんです。実は海が大好きで趣味はシュノーケリング。なので最初は高知でも海が近い黒潮町や四十市あたりで住居を探していました。

家も決まりかけていたんですが、その直前に能登地震があり、海の近くは家族が心配になりました。

高知でも海が近い黒潮町や四十市あたりで住居を探していました。

あと、大豊町へ来るまで肉体労働をしたことが無かったんです。最近では、東京でやっていた在宅の仕事以外にも、宿泊施設のスタッフや空き家の片付け、建築現場での手伝いにドローン国家資格の補助業務など、いろんなお仕事をしています。

あと、大豊町へ来るまで肉体労働をしたことが無かったんです。最近では、東京でやつ

ていた在宅の仕事以外にも、宿泊施設のスタッフや空き家の片付け、建築現場での手伝いにドローン国家資格の補助業務など、いろんなお仕事を

今後、大豊町でやりたいこと

とかありますか？

大豊町がアクセスのいい田舎であることをみんなに知つてほしいです！高知市からも気軽に遊びに来れますし。

それと、大豊町の人からよく「なんもない場所でしょ？」と聞かれますが、都会から来ると、大豊町って自然が豊かです。町民の方も大豊町が素晴らしい場所ということを誇りです。

大豊町は四季の変化が多くて、1年住んで季節ごとの楽しみ方がわかつてきたなと思う

大豊町に暮らしてみて、何か楽しみは見つけましたか？

大豊町は四季の変化が多くて、1年住んで季節ごとの楽しみ方がわかつてきたなと思う

大豊町が自然豊かで、自然が豊かです。町民の方も大豊町が素晴らしい場所ということを誇りです。

大豊町には希少性があるし、もっと大豊町の良さを伝えて移住者やJターン者を増やしていきたいですね！

雨の日も憂鬱になりがちだったんですが、吉野川や山々にかかる霧の景色がとても綺麗で、雨も悪くないなと思うようになりました。

あと、高知へ来て異次元のカツオのおいしさを知りました！今までカツオってそこまで好きじゃなかったんです。でも、高知へ来てカツオを食べた瞬間、今まで食べて食べたカツオは何だったのかと衝撃を受けました！例えて言うなら「蟹とカニカマくらい」違いますね。

移住してから、何か始めたことはありますか？

雨の日も憂鬱になりがちだったんですが、吉野川や山々にかかる霧の景色がとても綺麗で、雨も悪くないなと思うようになりました。

あと、高知へ来て異次元のカツオのおいしさを知りました！今までカツオってそこまで好きじゃなかったんです。でも、高知へ来てカツオを食べた瞬間、今まで食べて食べたカツオは何だったのかと衝撃を受けました！例えて言うなら「蟹とカニカマくらい」違いますね。



大豊町へ来るまで車の運転をほとんどしてこなかつたんですけど、ペーパードライバーのゴルド免許みたいな感じで。高知へ来ても半年ぐらいは車の運転が苦痛でした。それが半年たつたら不思議と慣れてきて、今ではすっかりドライバーが趣味です。

あと、大豊町へ来るまで肉体労働をしたことが無かつたんです。最近では、東京でやつていた在宅の仕事以外にも、宿泊施設のスタッフや空き家の片付け、建築現場での手伝いにドローン国家資格の補助業務など、いろんなお仕事をしています。

今後、大豊町でやりたいこととかありますか？

大豊町がアクセスのいい田舎であることをみんなに知つてほしいです！高知市からも気軽に遊びに来れますし。

おおとよガレット 出店します！



VILLAGE2025

10/18 (土) 10:00~17:00
10/19 (日) 10:00~17:00

高知市・鏡川河川敷周辺

土佐の豊穣祭

10/26 (日) 10:00~15:00

ゆとりすとパークおおとよ

特定非営利活動法人 元気おおとよ

元気おおとよは、大豊を元気にする民間団体です。
移住促進／地域交流／集落維持などに取り組んでいます。



080-8635-2253



<https://genki-otoyo.org/>



〒789-0250

大豊町黒石363-5(大田口テラス1階)